キュリオム
Qriom

家庭用

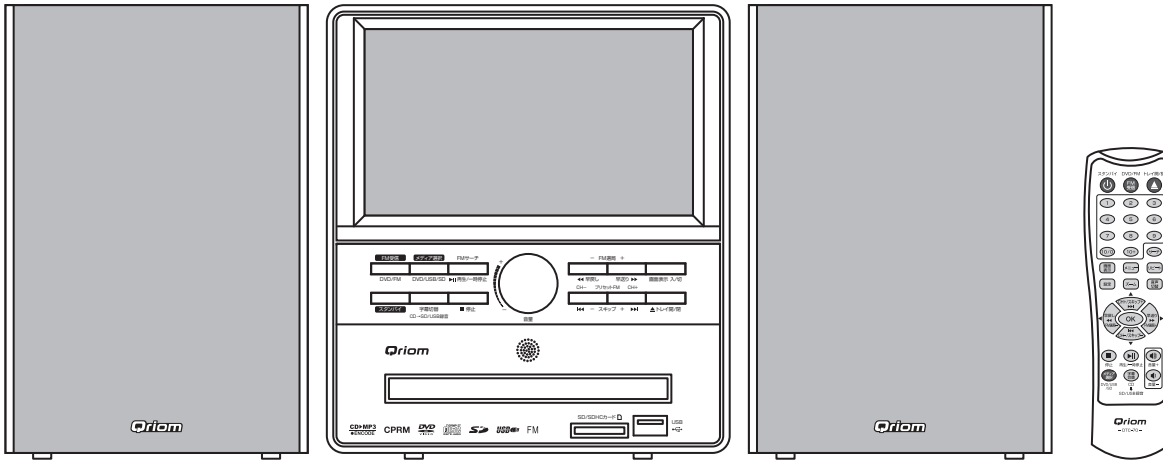
ご使用になる前に
この取扱説明書（保証書付）を最後までお読みのうえ正しくお使いください。

7インチ液晶付

DVD/CDミニコンポ

品番: DTC-70

取扱説明書（保証書付）



もくじ

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
1.はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2.準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3.各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
4.ディスクを再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
5.FMラジオを聴く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
6.SDカード/USBメモリーを使う・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
7.設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
8.パソコン(Windows)でのUSBメモリー
/SDカードのフォーマット方法・・・・・28
9.故障かな?と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
10.アフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
11.ご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
12.仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター

ナビダイヤル 0570-00-9106

受付時間：
月～金 午前１０時～午後５時３０分
（土・日・祝祭日・年末年始を除く）
※ナビダイヤルは、PHS、一部のIP電話、一部の電話からはつながりません。

メールでのお問い合わせ：
E-mail ： support@qriom.com

お買上げいただきありがとうございました。
なお、この取扱説明書（保証書付）は、大切に保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

安全上のご注意

※ご使用の前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容を良くお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵の表示例

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。	左図の場合は「分解禁止」を表しています。
●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示をする内容が描かれています。	左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」ということを表しています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告

濡れ禁止

本体内部に水や異物を入れない

火災や感電、故障の原因になります。

禁止

自動車やオートバイの運転中は使用しない

運転中の機器の操作は交通事故の原因になります。

浴室使用禁止

浴室、シャワー室など湿気がある場所では使用しない

火災や感電、故障の原因になります。

禁止

煙が出たり、異常な音やにおいがするなど、異常な状態のまま使用しない

火災や感電、故障の原因になります。

濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

火災や感電、故障の原因になります。

充電禁止

電池は充電しない

電池の破裂、液漏れにより、火災や怪我の原因となります。

⚠警告

禁止

SDカードは乳幼児の手の届くところにおかない

誤って飲み込む可能性があります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐ医師にご相談ください。

指示に従う

AC100V以外の電圧では使用しない

機器の故障や、火災や感電の原因となります。

指示に従う

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグをもって引き抜く

感電やショートして発火する恐れがあります。

禁止

落下させた機器やカバーやケースの壊れた状態で使用しない

火災や感電の原因になります。

分解禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない

発火したり、異常動作をして怪我の原因になります。

指示に従う

屋外での使用中に雷がなったらすぐにアンテナを外し使用をやめて機器から離れる

落雷の原因になります。

禁止

湿度の高い所やほこりのある場所で使用しない

火災や感電、故障の原因になります。

⚠注意

禁止

自動車内など高温になる場所に放置しない

機器の変形や故障の原因となります。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳を傷める原因となります

禁止

再生中に本体の移動はしない

ディスクが高速回転していますので、中のディスクを傷つけたり破損する恐れがあります。

指示に従う

使用済みの電池は、決められた場所に捨てる

指示に従う

電池は指定されたものを正しく使用する

種類の違うものを使用すると、破裂・液もれによる怪我や故障の原因となります。

1. はじめに

■ 主な特徴

本「7インチ液晶付DVD/CDミニコンポ」は、FMステレオ受信、CPRM対応DVD、VRモードDVD、DVDビデオ、音楽CDの再生、SDカード/USBメモリーへの音楽CDからのMP3化録音/再生に対応した、内蔵の7インチ液晶ディスプレイ再生ができる家庭用DVDステレオシステムです。

- ●CPRM対応DVD、DVD-VR、DVD-Video、DVD-R/RW、DVD+R/RW、VCD、CD-DA、CD-R/RW、MP3、WMA、JPGに対応
- ●音楽CDからSDカード/USBメモリーへの簡単録音/再生ができます。
- ●AV外部出力端子から外部テレビに接続できます。

■ 使用できるディスクについて

■本製品では、下記のマークのついたディスクを使用することができます。

DVD VIDEO	映　像 音　声	DVDビデオ（DVD-Video） ディスクの大きさ12センチ、片面１層／２層
COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音　声	音楽CD（CD DA）ディスクの大きさ12センチ、8センチ コンパクトディスク、再生時間74／20分最大

■CPRM方式、DVDに対応していますが、記録状態によっては再生できない場合があります。
■ファイナライズされていないDVD-R/RWは再生できません。
■DVD-RAMには対応していません。
■下記の規格のディスクには使用できません。

- ●リージョン番号「2」「ALL」以外のDVD-Video。
- ●CD-DA、MP3、WMA、JPG、Video CDデータ以外のCD-R/RW。
- ●DVD-VR、DVD-Video、CD-DA、MP3、WMA、JPG、Video CDデータ以外のDVD±R/RW。
- ●特殊な形状のディスク（ハート形など）。
- ●CDの標準規格に準拠していないディスク（コピーコントロールCDなど）。

■DVD±R/RW、CD-R/RWはディスクの特性、傷、汚れ、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。

■ ディスクの取扱いとお手入れについて

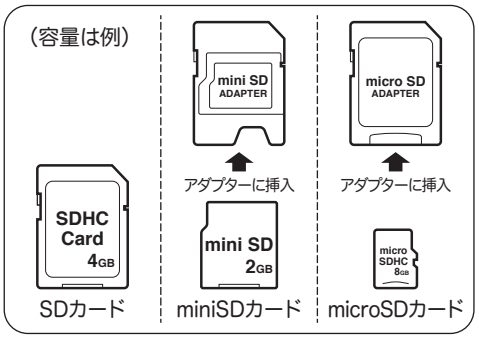
ディスクの取扱いは十分にご注意ください。再生面に傷がついたり汚れると映像を読み込まなくなったり、映像が乱れたり、音飛びの原因となります。

- ●再生面（虹色に光っている面）には触れないようにディスクの端を持つようにしてください。
- ●再生面に紙を貼ったり、傷を付けたりしないでください。
- ●直射日光の当たる場所や自動車の車内、熱器具の近くには放置しないでください。
- ●使用後は所定のケースに入れて保管してください。
- ●指紋やほこりなどは映像が乱れたり、音飛びをしたり、ディスクを読み込まない原因になります。いつもきれいに清掃してください。
- ●お手入れは、きれいな柔らかい布にアルコールを付けてディスクの中心から外側に向かって拭いてください。アルコール以外の溶剤は使用しないでください。

■ SD/SDHCカードの取り扱いについて

※ 本機はSDカードとSDHCカードが使用できます。これ以降、SDカードと表示している場合でもSDHCカードを含みます。

● 本機ではSDカード、miniSDカード、microSDカードが使用できます。(miniSDカード、microSDカードをお使いの場合は、SDカードアダプターが必要です。)



● 既にお使いのSDカード(miniSDカード、microSDカードを含む。以下同様)をご使用の場合は、フォーマットが必要です。パソコンでフォーマットをしてください。(28ページ参照)
以前にデジタルカメラや携帯電話やパソコンなどでお使いになられたSDカードをフォーマットせずにそのままご使用になりますと、フリーズ等、正常に動作しない場合があります。

● SDカードによっては、正常に動作しない場合があります。全てのSDカードの動作を保証するものではありません。

● 本機で再生可能なファイル形式は、MP3、WMA、JPGです。

● 本機での録音は、MP3形式で保存されます。

● 録音している際には絶対にカードを取り外したり、電源を切ったりコードを抜いたりしないでください。SDカードやデータが破損する恐れがあります。

● コピーコントロールCDなどコピー制限情報などが埋め込まれている場合は録音出来ないことがあります。

● 本機で録音されたSDカードは、著作権管理されたオーディオ機器や携帯電話では再生できません。また、それらの機器で録音されたSDカードは本機で再生できません。

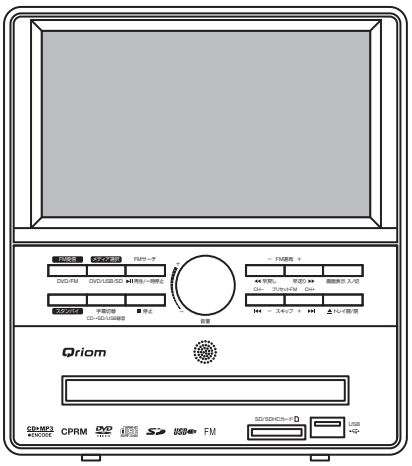
⚠ 注意

●使用後取り出した後は必ずケースにいれて保管してください。
●貼られているラベルははがさないでください。
●ラベル・シールを貼らないでください。
●金属端子部分に触らないでください。

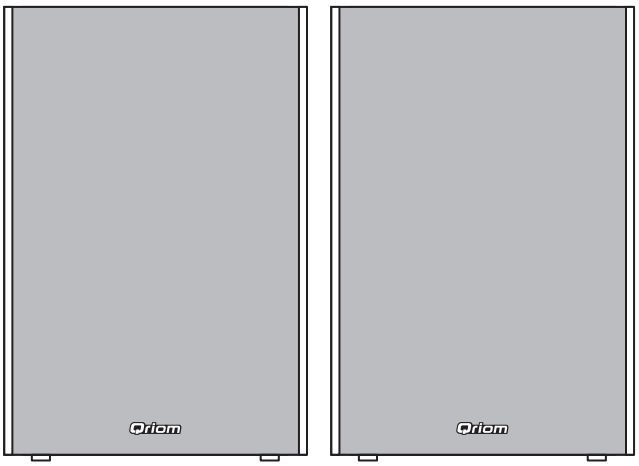
2. 準備

■ セット内容の確認

本体



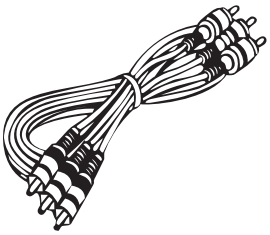
スピーカー ×2



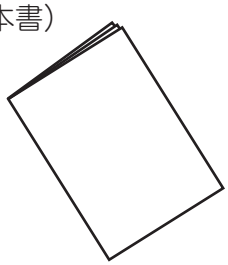
リモコン

リモコン動作確認用単４形乾電池 2本

AVケーブル

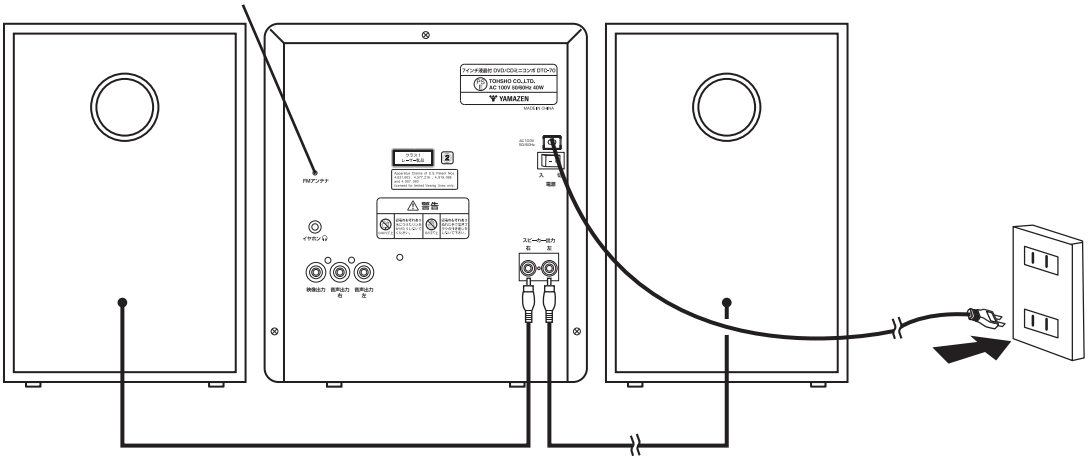


取扱説明書（保証書付）
（本書）



■ スピーカーの接続とAC電源の接続

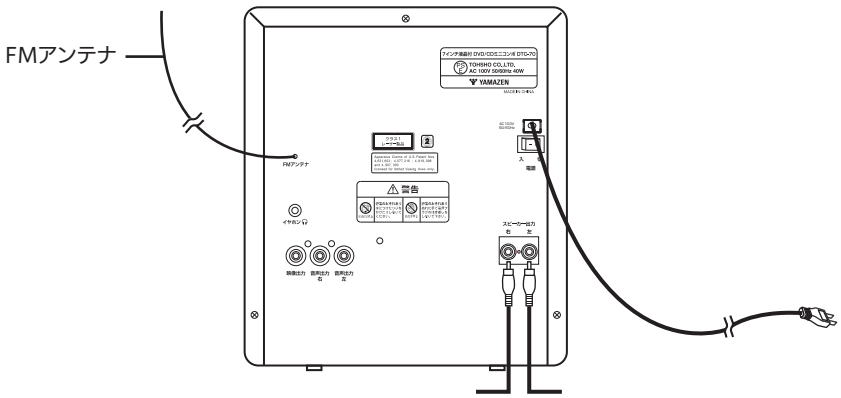
■左右スピーカーを本体の左右にセットします。
■左右各スピーカーからのリード線のプラグを本体のスピーカー端子に接続します。
■スピーカーを接続後にACプラグをご家庭のAC電源コンセントに接続します。



（右スピーカー背面）　（本体背面）　（左スピーカー背面）

■ FMアンテナを張る

■FMアンテナリード線を伸ばしてピンと張らないとFMラジオは受信できません。



■ 液晶画面の保護シートをはがす

■液晶画面に貼ってある保護シートを、タブを引っ張ってはがします。

■ 外部テレビへの接続

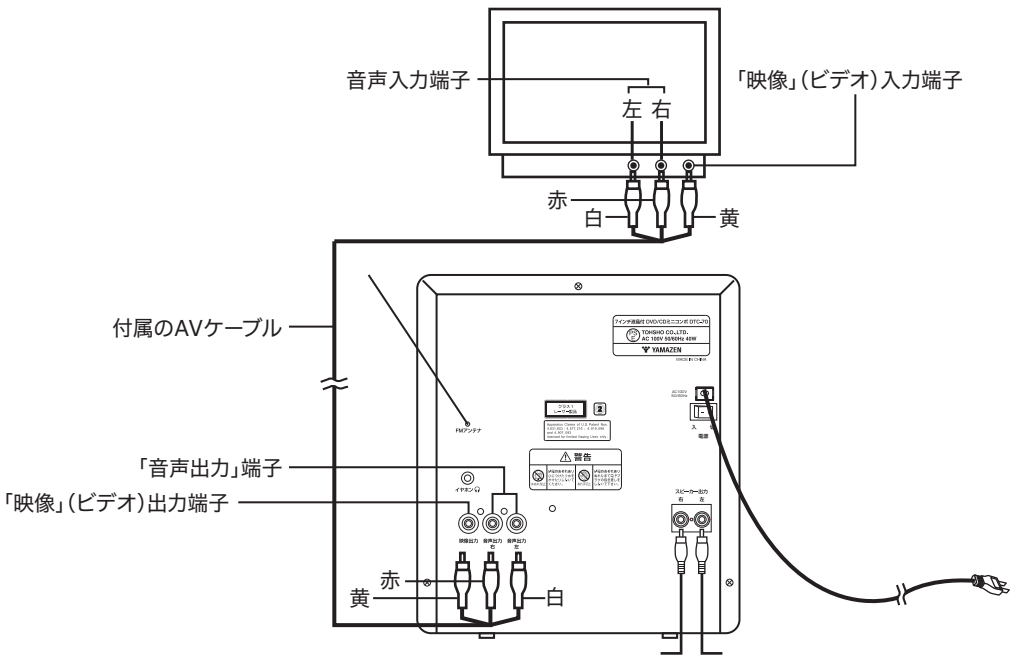
本機の液晶画面でご覧になる時は、この接続は不要です。
外部テレビでご覧になる時は、下記の接続をします。

1 付属のAVケーブルを使って、お持ちのテレビに接続します。黄色のプラグを本機背面にある黄色の「映像出力」端子につなぎ、赤色のプラグは「音声出力端子（右）」、白色のプラグは「音声出力端子（左）」に接続してください。そしてケーブルの反対側をテレビの映像(ビデオ)入力端子と音声入力端子に、黄、赤、白を合わせて接続してください。

2 テレビで映像（ビデオ）入力を選択してください。

3 本体の"画面表示 入/切"ボタンを押して、本機のモニター表示を消します。

ビデオ入力端子付テレビ（別売）

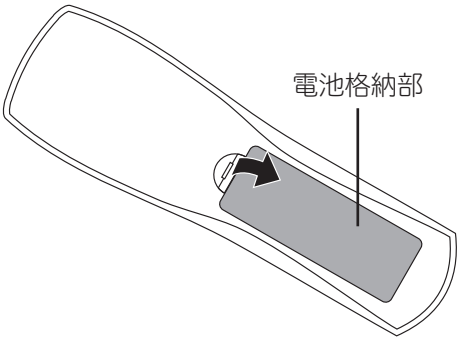


■ イヤホンの接続

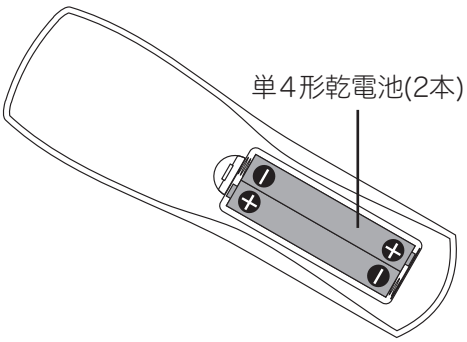
イヤホンをお使いの場合は、本機背面にある”イヤホン”ジャックにイヤホンプラグを差し込みます。
イヤホンから出力され、スピーカーからは出力されません。

■リモコンの準備

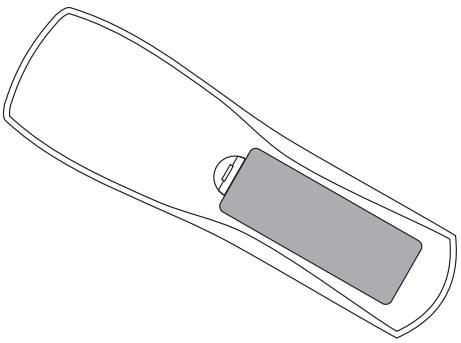
1 リモコン背面の電池格納部のカバーつまみに指先を引っかけて開けます。



2 電池格納部内の極性(+/−)に合わせて乾電池を正しくセットします。

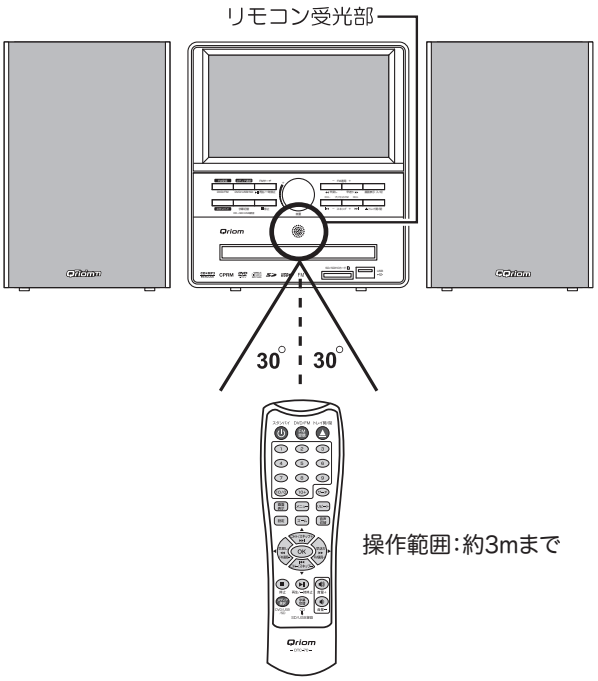


3 電池格納部内のカバーを閉じます。



■リモコンの操作

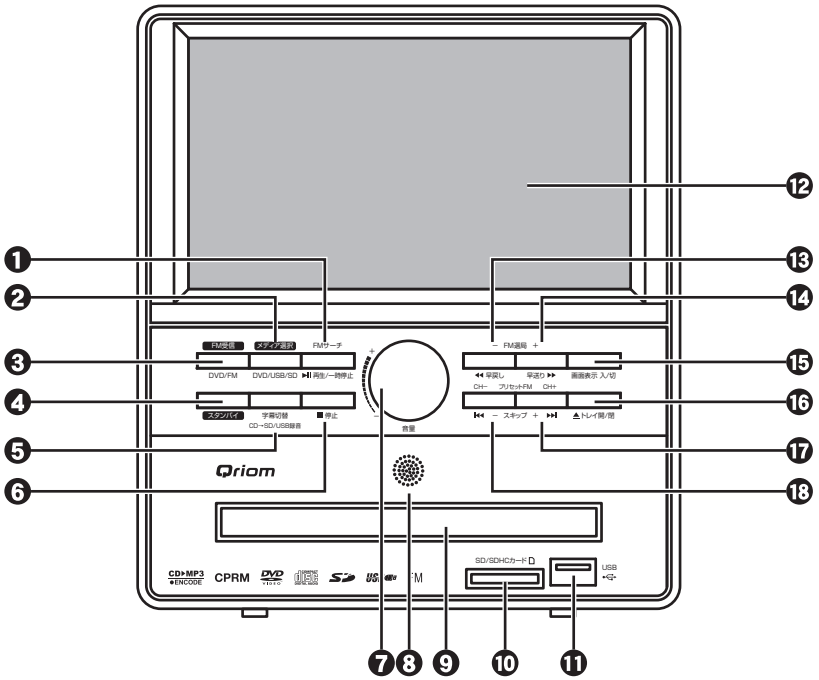
リモコンをお使いの際には、本体のリモコンセンサーに対して左右30度の角度内であることを確かめて下さい。手前に障害物がありますと、信号が本体のリモコン受光部に届かなくなります。



- 長時間使用しない時は、電池を抜いて保管して下さい。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなった時は、新しい電池と交換して下さい。
- 電池から液もれが発生した場合は、電池を直ちに処分して下さい。新しい電池をお使いになる際は、電池ケースをきれいに清掃してからお使い下さい。
- インバーター式蛍光灯の光が直接本体のリモコン受光部に入ると、リモコンが効かなくなることがあります。その場合は、本体の設置位置を変えます。

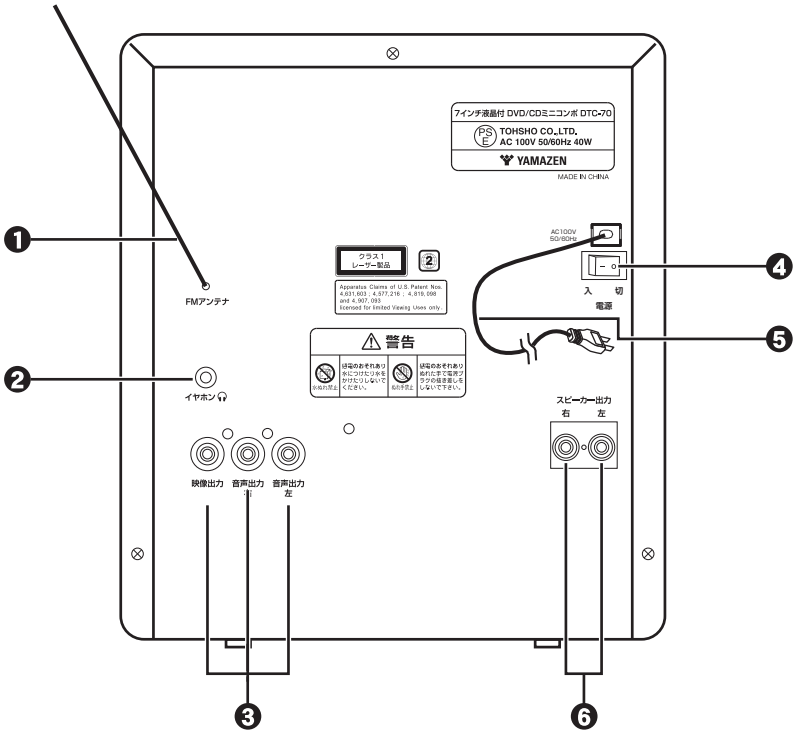
3. 各部の名称

■ 前面図



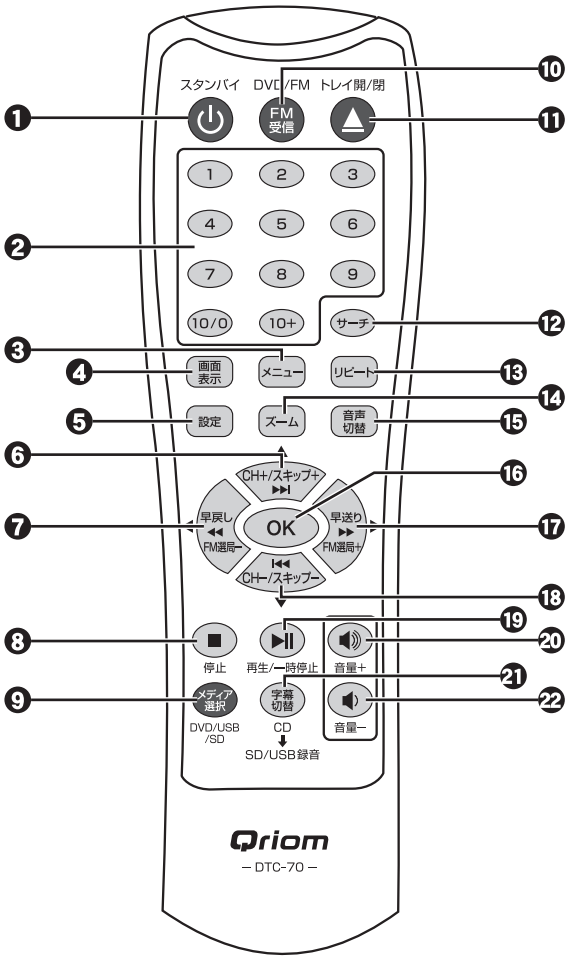
❶ FMサーチ
❷ メディア選択(DVD/USB/SD)
❸ FM受信(DVD/FM)
❹ スタンバイ
❺ 字幕切替、CD→SD/USB録音
❻ 停止
❼ 音量
❽ リモコン受光部
❾ ディスクトレイ
❿ SD/SDHCカード接続端子
⓫ USB接続端子
⓬ 液晶ディスプレイモニター
⓭ FM選局
⓮ FM選局+
⓯ 画面表示 入/切
⓰ トレイ 開/閉
⓱ スキップ+、プリセットFM CH+
⓲ スキップ、プリセットFM CH

■ 背面図



❶ FMアンテナ
❷ イヤホンジャック
❸ 映像/音声出力端子
❹ 電源スイッチ 入/切
❺ AC電源コード
❻ スピーカー出力端子

■リモコンボタン

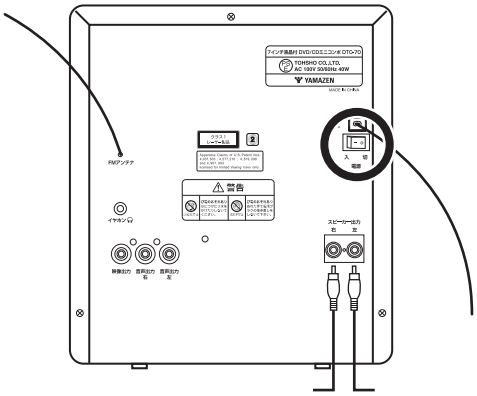


❶ スタンバイ
❷ テンキー
❸ メニュー
❹ 画面表示
❺ 設定
❻ CH+/スキップ+
❼ 早戻し、FM選局
❽ 停止
❾ メディア選択(DVD/USB/SD)
❿ FM受信(DVD/FM)
⓫ トレイ開/閉
⓬ サーチ
⓭ リピート
⓮ ズーム
⓯ 音声切替
⓰ OK
⓱ 早送り、FM選局+
⓲ CH/スキップ
⓳ 再生/一時停止
⓴ 音量+
㉑ 字幕切替、CD→SD/USB録音
㉒ 音量

4. ディスクを再生する

■ 電源を入れる／切る

1 本体後部の”電源”スイッチの”入”を押すと、主電源が入ります。



2 リモコンの"スタンバイ"ボタンを押して、電源オン/オフを切り替えます。スタンバイでオフの場合は、本機ディスプレイモニターが消灯します。ディスクトレイ青ランプはついたままです。主電源を切る場合は、本体後部の電源スイッチの"切"を押します。

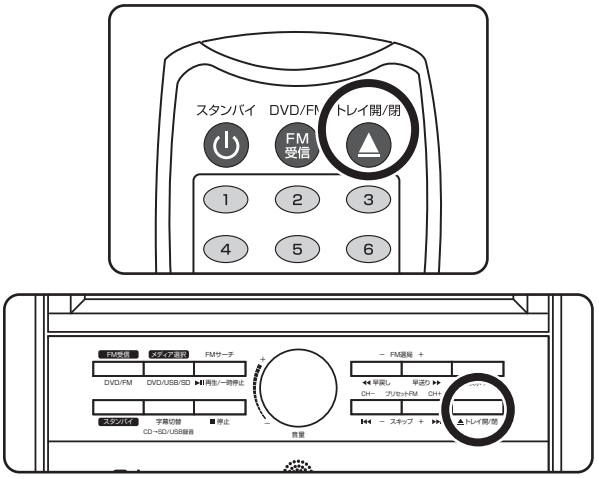
※ 停止状態が約30分続くと、ディスプレイモニターは消灯します。"スタンバイ"ボタンまたは"トレイ開/閉"ボタンを押すと復帰します。

■ ディスク再生の基本

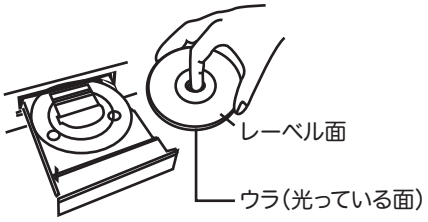
ディスクを入れる

1 本体後部の"電源"スイッチの"入"を押し、電源を入れます。

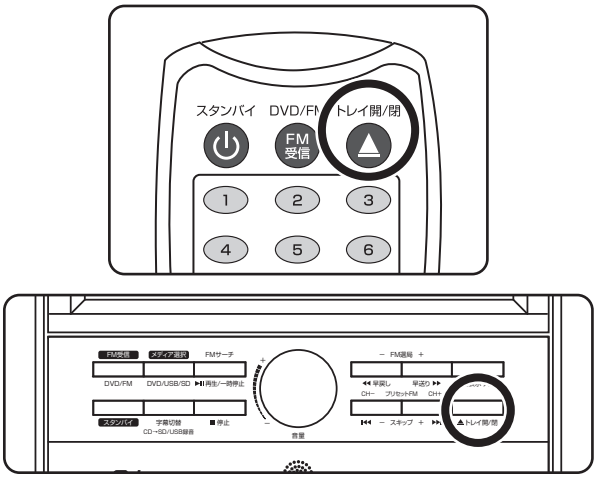
2 リモコンか本体正面部の" ▲ トレイ開/閉"ボタンを押して、ディスクトレイを開けてください。



3 ディスクをトレイの上に置いてください。この際ディスクの表面に傷などつけない様に十分注意してください。人さし指をディスクの中央の穴に、他の指でディスクの縁を支えながら置いていただくと、簡単に置くことができます。



4 リモコンか本体正面部の" ▲ トレイ開/閉"ボタンを押して、ディスクトレイを閉めてください。

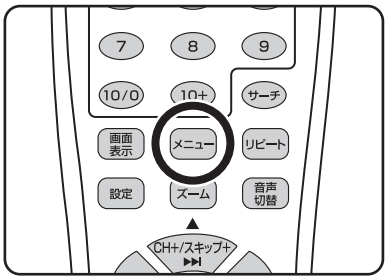


■ DVDの再生

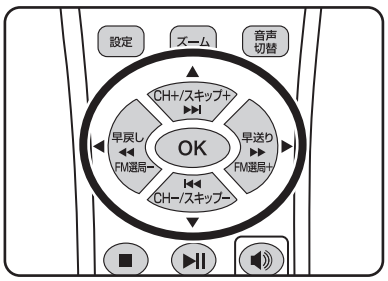
メニューを選択する

1 ディスクを入れると再生が開始されるか、メニュー画面が表示されます。

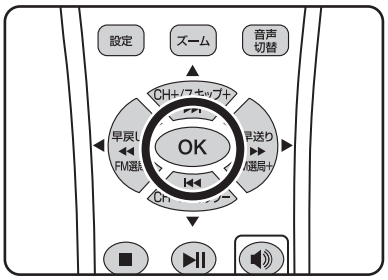
※メニューがない場合はそのまま再生が始まります。
※再生中に「メニュー」ボタンを押すとルートメニューが表示されます。



2 メニュー選択内容を"カーソル"ボタンで選択します。

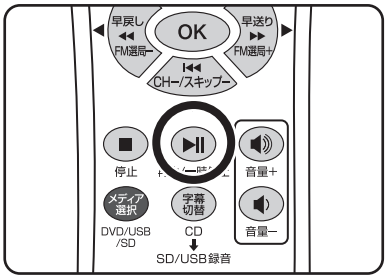


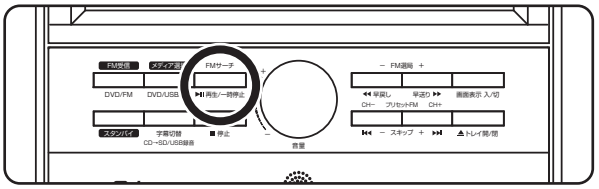
3 "OK"ボタンで決定します。



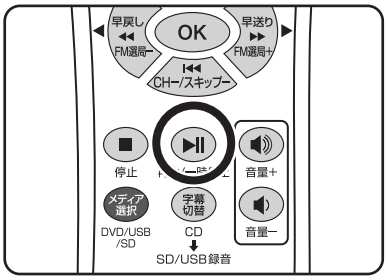
再生、一時停止、停止

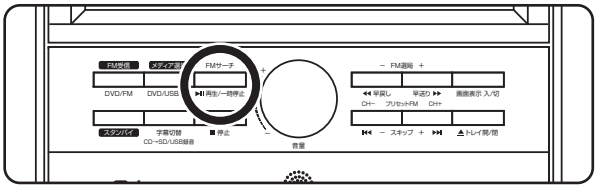
1 ディスクを入れると、通常は自動的に再生を開始します。自動的に再生しない場合は、本体またはリモコンの"再生/一時停止"ボタンで再生します。





2 本体またはリモコンの"再生/一時停止"ボタンで一時停止します。本体またはリモコンの"再生/一時停止"ボタンで再度再生します。

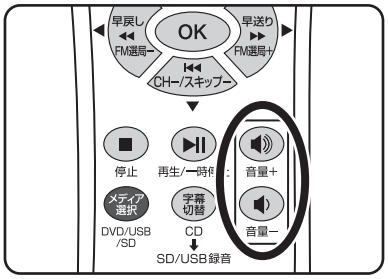


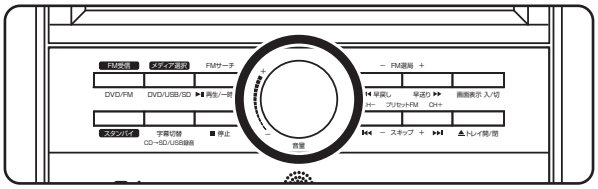


3 本体またはリモコンの"停止"ボタンで停止します。1度押すと停止した場所から再生ボタンを押すことで、再生を再開することができます。2度押すと、完全に停止しディスクの最初に戻ります。

音量

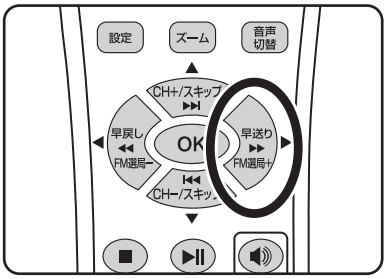
本体の"音量"つまみを右に回すと音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。
リモコンでは、"音量＋"ボタンを押すと音量が大きく、"音量－"ボタンを押すと音量が小さくなります。

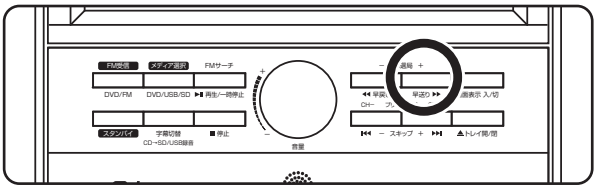




早送り

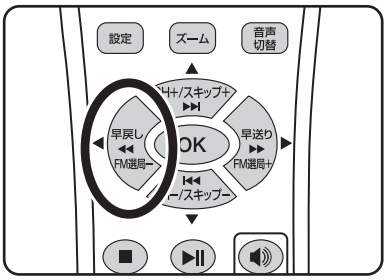
"早送り"ボタンを押すたびに速さが切り替わります。
"再生"ボタンを押すと、通常の再生モードに戻ります。
早送りの速さは、ディスクによって異なります。

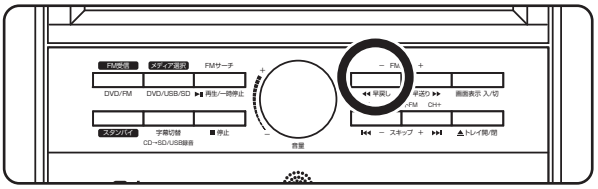




早戻し

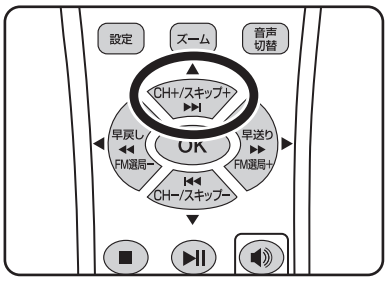
"早戻し"ボタンを押すたびに速さが切り替わります。
"再生"ボタンを押すと、通常の再生モードに戻ります。
早戻しの速さは、ディスクによって異なります。

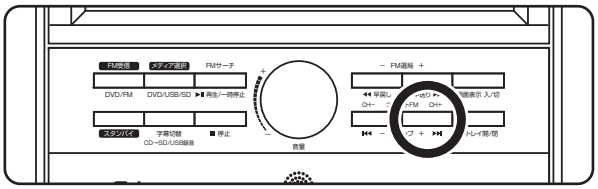




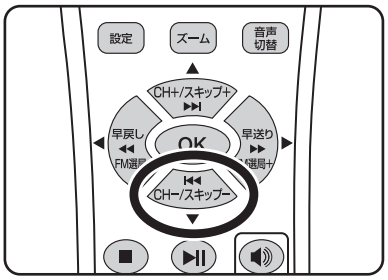
チャプターを移動する

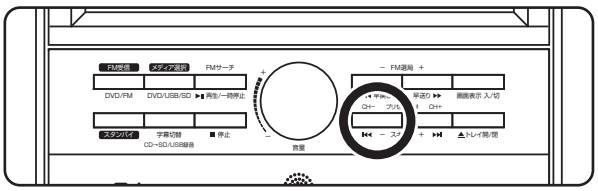
1 "スキップ+"ボタンを1回押すと次のチャプターの先頭に進ませることができます。





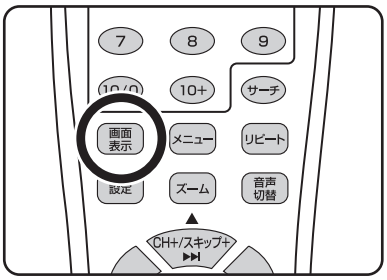
2 "スキップ−"ボタンを1回押すと前のチャプターの先頭に移動することができます。





情報を表示する

リモコンの"画面表示"ボタンを押すことで現在見ているディスクの情報(タイトル再生時間、タイトル残り時間、チャプター再生時間、チャプター残り時間)を表示します。"画面表示"ボタンを押すと、表示が切り替わります。



音声の切替

日本語、英語など音声が複数設定されているDVDの場合、リモコンの"音声切替"ボタンを押すことにより切り替えることができます。

※DVDによっては、正常に機能しない場合があります。
　その場合は、メニュー画面の音声設定で切替えます。

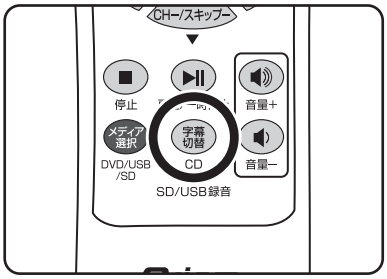
※音楽CD、MP3、WMAの場合は、ステレオ→左側モノラル→右側モノラル→ミックスモノラルの順に切替えます。
　カラオケCDに使用します。

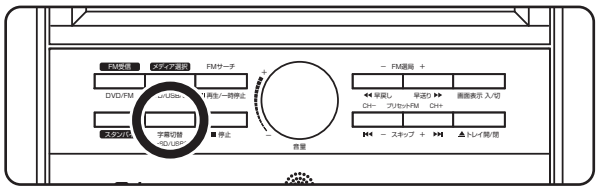
サーチ

リモコンの"サーチ"ボタンを押し、タイトル、チャプターをテンキーボタンで入力すると指定した場所に移動して再生します。

字幕の切替

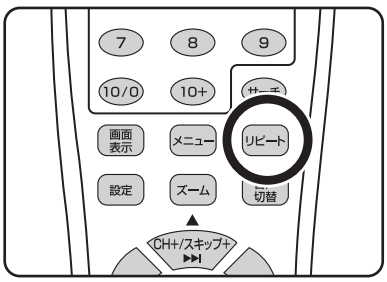
字幕機能がディスクに設定されている場合、本体かリモコンの"字幕切替"ボタンを押すことにより字幕を切替えることができます。





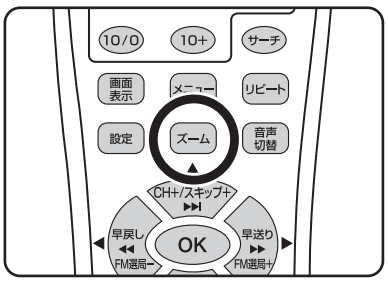
リピート機能

リモコンの"リピート"ボタンを押すことで再生中のチャプターをリピートさせる「チャプターリピート」と、再生中のタイトルをリピートさせる「タイトルリピート」、全部のリピートの「オールリピート」を選ぶことができます。(DVDビデオ)
ディスプレイ表示を消すことでリピートを解除できます。



ズーム機能

リモコンの"ズーム"ボタンを1回押すごとに3段階画面の中心を大きく、4回目〜6回目は画面を小さくすることができます。7回押すと、元の画面に戻ります。表示される数字は、実際の倍率を表すものではありません。



■音楽CD、MP3、WMA、JPEGの再生

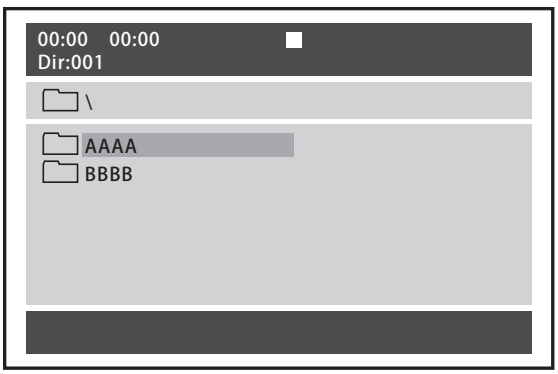
再生する

音楽CDを挿入すると「再生中のトラック番号/総トラック数」と「トラックの経過時間」をディスプレイに表示し、1曲目から再生します。

（音楽CDの再生時の表示）

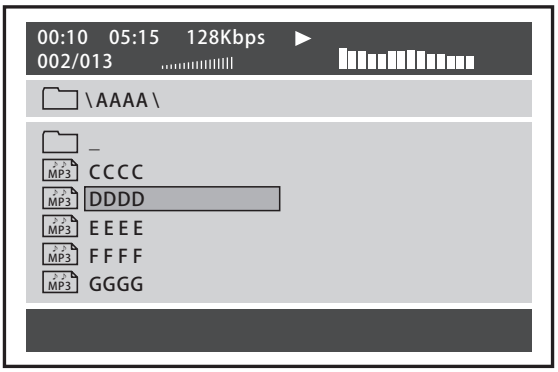
MP3/WMA/JPEG入ディスクの場合は下図の画面になります。曲を選択するためには、リモコンのカーソルキーでフォルダーを選択して"OK"ボタンを押し、フォルダー内のファイルを選択し"OK"ボタンを押します。本体での操作は"スキップ＋"、"スキップー"、"再生/一時停止"ボタンでフォルダー内のファイルを選択します。

（MP3/WMA/JPG再生、フォルダー表示時）



（フォルダー名、ファイル名は例。以下同様）

（MP3/WMA/JPG再生、ファイル表示時）



（JPG再生時は右側に画像を表示）

再生を停止させる場合は"停止"ボタンを押します。

ファイル再生中は"スキップ＋"、"スキップー"ボタンでファイルを前後に移動できます。"早送り"、"早戻し"ボタンで早送り、早戻しができます。リモコンのテンキーでトラック番号を入力し、"OK"ボタンを押すと、その曲にスキップします。

「リピート」は"リピート"ボタンを何度か押すと、「シングルリピート」、「フォルダーリピート(MP3、WMA再生のみ)」ができます。「フォルダー再生」でフォルダーの再生、「シングル再生」で1曲のみの再生となります。

※MP3/WMA/JPEGの場合ディスクによっては画面のトラック名表示が曲名/ファイル名表示になる場合がありますが、字数制限により全文字を表示できません。表示によっては文字化けすることがあります。またディスクによっては正常に表示されない場合があります。

※JPEGの場合は、リモコンの"カーソル"ボタンでファイルを選択した後、"再生"ボタンを押してしばらくすると全画面表示になり、画像を自動的に切り替えます。カーソルキーで画像表示角度を90°ずつ切り替えたり、左右反転画像にできます。ファイルを読み込む時間により、ボタンを押した後、遅れて表示されます。

※停止状態が約30分続くと、ディスプレイモニターは消灯します。"スタンバイ"ボタンを押すと復帰します。

5. FMラジオを聴く

※ 鉄筋コンクリート建物の内部、鉄筋や金属を使用した建物の立ち並ぶところ、電波発信場所から遠い場所では、電波を受信できなかったり、雑音が増える場合があります。
※ 本機にはAM受信機能はありません。

■ 選局

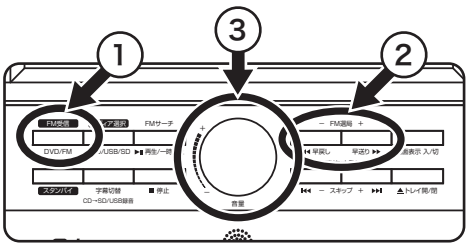
電源スイッチを入れます。
SD/USB機能になっている時は、本体かリモコンの"メディア選択"ボタンを押してDVD機能にします。

1 DVD機能になっている時に、本体かリモコンの"FM受信(DVD/FM)"ボタン(①)を押してFMラジオ機能にします。

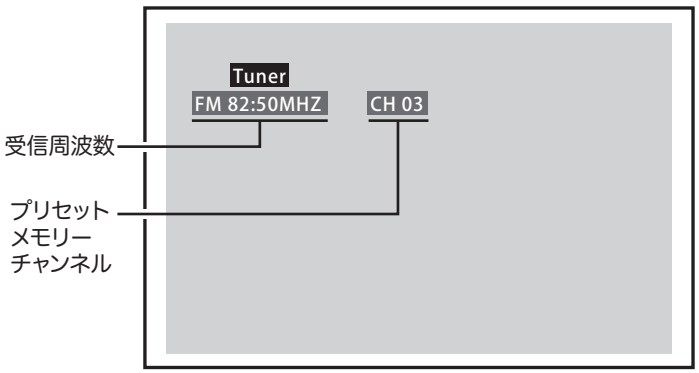
2 ディスプレイ左上に「Tuner」(チューナー)と受信周波数、CHナンバーを表示します。「Tuner」のみの表示の場合は"CH−"または"CH+"ボタンを押します。

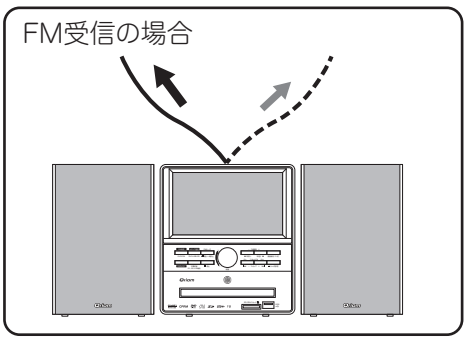
3 本体かリモコンの"FM選局+/−"ボタン(②)を押し、お好みの局に周波数を合わせます。
ボタンを短く押すと、受信周波数を0.05MHzステップで変化させます。
本体の"FM選局+/−"ボタン(②)を押し続けると周波数が連続的に変わります。
リモコンの"FM選局+/−"ボタン(②)を2〜3秒間長押しすると放送局を自動で検知するオートサーチが始まります。放送を受信すると止まります。

※ オートサーチでは、放送ではなく、雑音でストップする場合があります。その場合は、再度リモコンの"FM選局+/−"ボタン(②)を長押ししてサーチスタートをしてください。



(FM受信時の画面)





FMアンテナをいっぱいに伸ばし、よく聞こえる方向に向けてください。

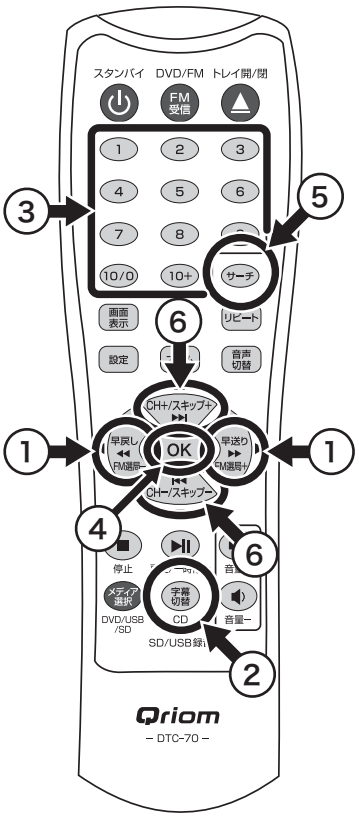
4 本体の"音量"つまみ、リモコンの"音量+/−"ボタン(③)で音量を調節します。

■ プリセットチャンネル受信

「プリセットチャンネル受信」とは、あらかじめ受信したい放送局を受信してメモリー登録しておき、後で登録していたプリセットチャンネルを選択して、簡単にご希望の放送局を受信する方法です。

受信するFM放送局を30局プリセットメモリーすることができます。

プリセットメモリー登録には、手動でプリセットメモリーするマニュアルプリセットメモリー機能と自動でサーチしてプリセットメモリーするオートプリセットメモリー機能があります。
どちらかでプリセットメモリーします。



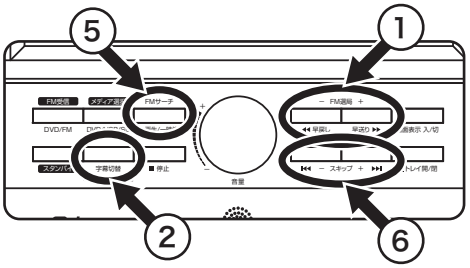
マニュアルプリセットメモリー

1 本体かリモコンの"FM選局+/−"ボタン(①)でプリセットメモリーしたい放送局を受信します。

2 本体かリモコンの"字幕切替"ボタン(②)を押します。プリセットメモリーチャンネルの表示が「CH−−」となるので、リモコンのテンキー(③)で数字をCH毎に1から順に入力します。

3 リモコンの"OK"ボタン(④)を押して、プリセットチャンネルをメモリーします。

4 上記 **1** ～ **3** を繰り返して異なる放送局を異なるプリセットの数字でメモリー登録します。



オートプリセットメモリー

本体の"FMサーチ"ボタンか、リモコンの"サーチ"ボタン(⑤)を押すと、自動的にFMバンドの周波数の下端から上端までをサーチし放送局があるとプリセットメモリーします。

※サーチでは、放送ではなく雑音でストップし、プリセットメモリーする場合があります。

プリセットした放送局の受信

プリセットメモリーした放送局を受信するためには、本体の"プリセットFM CH+/−"ボタン又は、リモコンの"CH+""CH−"ボタン(⑥)を押して、上記で登録したプリセットチャンネル番号を選択します。又は、直接リモコンのテンキー(③)でプリセットチャンネル番号を押して選択指定します。

6. SDカード/USBメモリーを使う

■ SDカード/USBメモリーを挿入しても認識しない場合は、一度SDカード/USBメモリーを抜き、再度挿入してください。

■ SDカード/USBメモリーを抜き差ししても認識しない場合は、SDカード/USBメモリーをいれたまま後部の電源スイッチを一度切り、再度入れます。

■ 既にお使いのSDカード/USBメモリーをご使用の場合は、パソコンでフォーマットを行ってください。（28ページ参照）

■ SDカード/USBメモリーによっては、録音/再生しなかったり、音飛び、ノイズ等正常に動作しない場合があります。全てのSDカード/USBメモリーの録音/再生を保証するものではありません。

■ 本機には、SDカードのLOCK検知機能がないため、SDカードのLOCKタブをLOCKの位置にしても録音しますのでご注意ください。

■ 音楽CDからSDカード/USBメモリーに録音する

1 本体又はリモコンの"FM受信(DVD/FM)"ボタン(①)と"メディア選択(DVD/USB/SD)"ボタン(②)を押して、FMラジオからディスク再生に切り換えます。

2 本体又はリモコンの"トレイ開/閉"ボタン(③)により、ディスクトレイを開き、音楽CD(CD DA)を置き、ディスクトレイを閉めます。音楽CDの再生を開始します。

3 SDカードかUSBメモリーを挿入します。

4 音楽CD再生モードで本体かリモコンの"字幕切替(CD→SD/USB録音)"ボタン(④)を押します。次の画面を表示します。リモコンの"カーソル"ボタン(⑤)と"OK"ボタン(⑥)で各種録音設定を行います。

● 「オプション」画面の設定：

速　　度 ： 標準(1×)、高速(約2.5倍)。録音スピードを設定します。

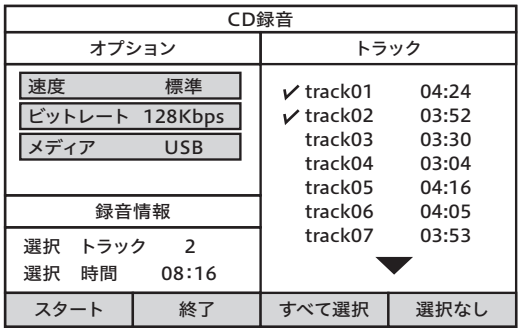
ビットレート ： 96、112、128、192、256、320Kbps。
ビットレートは数字が大きいほど音質は良くなりますが、容量が大きくなります。

メ デ ィ ア ： 録音するメディアに合わせて、SDカードかUSBを選択します。SDカード、USB接続の両方が挿入されている時のみ選択ができます。

音楽CDからの録音画面（トップ画面）

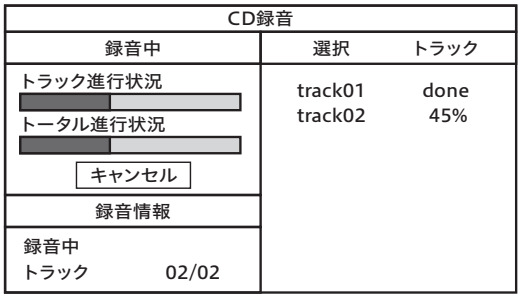
CD録音			
オプション		トラック	
速度	標準	track01	04:24
ビットレート	128Kbps	track02	03:52
メディア	USB	track03	03:30
		track04	03:04
		track05	04:16
録音情報		track06	04:05
選択 トラック	0	track07	03:53
選択 時間	00:00	▼	
スタート	終了	すべて選択	選択なし

音楽CDからの録音画面（録音設定）



（録音したいトラックに✔マークを付けます）

音楽CDからの録音画面（録音中）



（録音終了したトラックはdoneと表示します）

次に”カーソル”ボタンを押して「トラック」欄に移動します。

● **録音「トラック」画面の設定：**
録音したいトラック（曲）を"カーソル"ボタンで選択し、"OK"ボタンを押します。他にも録音したいトラック（曲）を同様に選択します。トラック（曲）をすべて録音したい場合は、「すべて選択」に移動し"OK"ボタンを押します。すべてキャンセルしたい場合は「選択なし」に移動し、"OK"ボタンを押します。録音したいトラック（曲）にチェックマークが付きます。

● **音楽CDからSDカード/USBメモリーへの録音スタート：**
カーソルを「スタート」に合わせて、"OK"ボタンを押すと録音をスタートします。
「高速」で録音中のモニター音は出力されません。
「標準」で録音中のスピーカーからのモニター音の音量は一定で、本体の"音量"つまみやリモコンの"音量＋/－"ボタンで音量調節はできません。直前に音楽CD再生中に調節した音量レベルでモニター音は出力されます。
録音を途中で中止したい場合は"OK"ボタンを押すと録音を中止します。
録音が完了すると、再度CD録音のトップ画面に戻ります。トップ画面で「終了」に移動し、"OK"ボタンを押して、CD録音画面を終了します。

※ ラジオからSD/USB録音はできません。

■ SDカード/USBメモリーを再生する

■ 本機で再生できるファイル形式はMP3、WMA、JPGです。表示されないファイルは本機で再生できません。

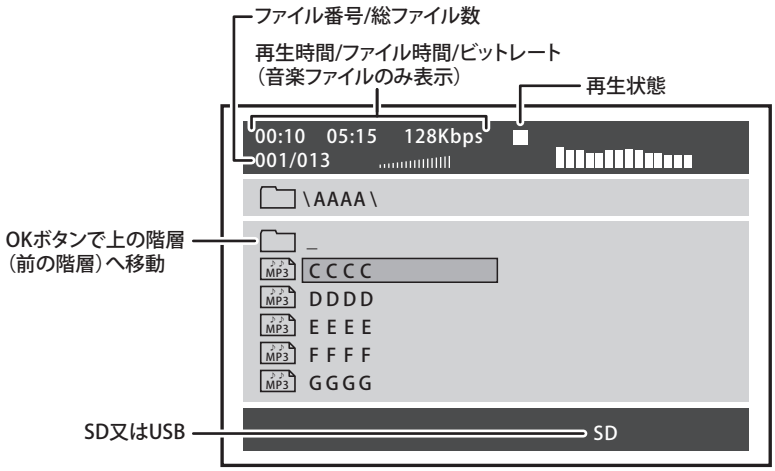
■ パソコンからコピーしたMP3、WMA、JPGファイルも再生できますが、著作権保護されたファイルは再生できません。

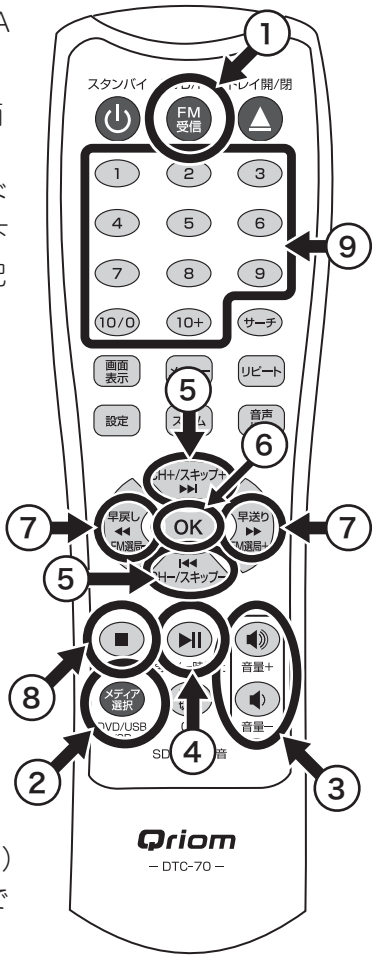
■ SDカード/USBメモリーによっては、録音/再生しなかったり、音飛び、ノイズ等正常に動作しない場合があります。全てのSDカード/USBメモリーの録音/再生を保証するものではありません。

■ ファイル名に表示できないコードがあるときは、文字化けを起こす場合があります。

1 SDカード/USBメモリー接続端子に本機で録音した(またはMP3、WMAファイルをパソコンでコピーした)SDカード/USBメモリーを挿入します。

2 本体かリモコンの"FM受信(DVD/FM)"ボタン(①)を押して、テレビ画面左上の表示の"Tuner"を消してFM受信以外にしてから"メディア選択(DVD/USB/SD)"ボタン(②)を押してUSBかSDを選択します。SDカード/USBメモリー内のデータを読み込み後"OK"ボタン(⑥)と"カーソル"上下ボタン(⑤)を押して再生したいファイルを選択します。テレビ画面には下記が表示されます。





3 ファイル選択して"OK"ボタン(⑥)を押すと、MP3、WMAではトラック(曲)を再生します。本体の"音量"つまみ、リモコンの"音量+/−"ボタン(③)で音量を調節します。JPGでは画像を表示します。

4 一時停止するには、本体またはリモコンの" ▶II 再生/一時停止"ボタン(④)を押します。再度押すと再生を開始します。

5 本体の" ▶▶I "/" I◀◀ "ボタンを押すと(リモコンでは"カーソル"ボタンの上下ボタン(⑤)を押して"OK"ボタン(⑥)を押すと)を短く押すと、曲を前後にスキップさせることができます。" ▶▶ "/" ◀◀ "(リモコンでは"早送り"/"早戻し")ボタン(⑦)を繰り返し押すと早送り/早戻しになりますが、音は出ません。

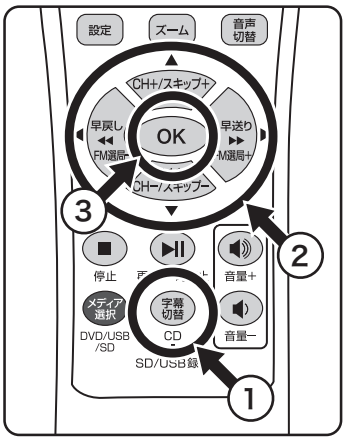
6 リモコンの"テンキー"(⑨)でトラック番号を入力し、"OK"ボタンを押すと、その曲にスキップします。

7 停止するには本体またはリモコンの" ■ 停止"ボタン(⑧)を押します。

■ SDカード/USBメモリー内のファイル/フォルダを削除する

■ USBメモリーもしくはSDカード内のMP3、WMA、JPGファイル/フォルダを削除することができます。
※CD-R/-RW内のファイル/フォルダは削除することはできません。

1 USBメモリーもしくはSDカードの**「ファイル一覧画面」**の、削除したいファイル/フォルダがある階層で本体かリモコンの"字幕切替(CD→SD/USB録音)"ボタン(①)を押します。



2 "カーソル"ボタン(②)を押して削除したいファイル/フォルダに移動し、"OK"ボタン(③)を押してチェックマークを付けます。

■ その階層で一度に複数のファイル/フォルダを選択する場合は"カーソル"ボタン(②)で対象のファイル/フォルダに移動して、"OK"ボタン(③)を押してチェックマークを付けます。

■ 個別に選択を解除する場合は、"カーソル"ボタン(②)で対象のファイル/フォルダに移動して、"OK"ボタン(③)を押してチェックマークを外します。

■ その階層の全てのファイル/フォルダを選択する場合は"カーソル"ボタン(②)を押して**「すべて選択」**に移動して、"OK"ボタン(③)を押して全てのファイル/フォルダにチェックマークを付けます。

■ その階層の全てのファイル/フォルダの選択を解除する場合は"カーソル"ボタン(②)を押して**「選択しない」**に移動して、"OK"ボタン(③)を押して全てのファイル/フォルダのチェックマークを外します。

■ このオプション画面を閉じる場合は**「終了」**を選択します。

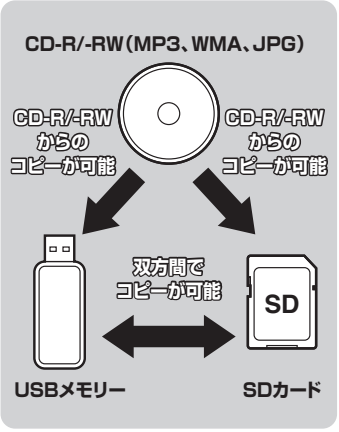
■ 途中の画面で全てキャンセルする場合は、リモコンの"字幕切替(CD→SD/USB録音)"ボタン(①)を押します。

3 "カーソル"ボタン(②)を押して**「削除」**に移動して、"OK"ボタン(③)を押すと、ファイル/フォルダの削除が実行されます。

**※一度ファイル/フォルダを削除すると復元することはできません。
あらかじめご了承ください。**

■ ファイル/フォルダをコピーする

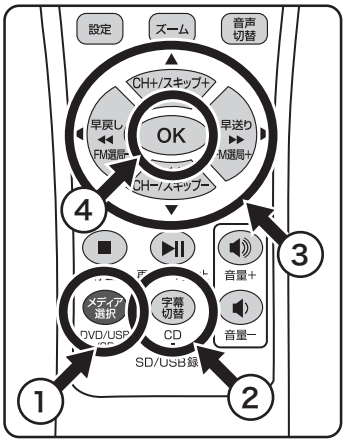
■ 動画/音楽/静止画ファイル、フォルダを記録したUSBメモリー、SDカード、CD-R/-RW間で、お好みのファイル/フォルダを選択してコピーすることができます。
※本製品では、CD-R/-RWへの書き込みはできませんので、USBメモリー、SDカードからのCD-R/-RWへのコピーはできません。



1 コピー元とするメディアと、コピー先とするメディアをそれぞれセットします。

2 本体もしくはリモコンの"メディア選択(DVD/USB/SD"ボタン(①)を押して、コピー元とするメディアの**「ファイル一覧」**画面を表示させ、コピーしたいファイル/フォルダがある階層でリモコンの"字幕切替(CD→SD/USB録音)"ボタン(②)を押します。

3 "カーソル"ボタン(③)を押してコピーしたいファイル/フォルダに移動し、"OK"ボタン(④)を押してご希望のファイル/フォルダにチェックマークを付けます。



■ その階層で一度に複数のファイル/フォルダを選択する場合は"カーソル"ボタン(③)で対象のファイル/フォルダに移動して、"OK"ボタン(④)を押してチェックマークを付けます。

■ 個別に選択を解除する場合は、"カーソル"ボタン(③)で対象のファイル/フォルダに移動して、"OK"ボタン(④)を押してチェックマークを外します。

■ その階層の全てのファイル/フォルダを選択する場合は"カーソル"ボタン(③)を押して**「すべて選択」**に移動して、"OK"ボタン(④)を押して全てのファイル/フォルダにチェックマークを付けます。

■ その階層の全てのファイル/フォルダの選択を解除する場合は"カーソル"ボタン(③)を押して**「選択しない」**に移動して、"OK"ボタン(④)を押して全てのファイル/フォルダのチェックマークを外します。

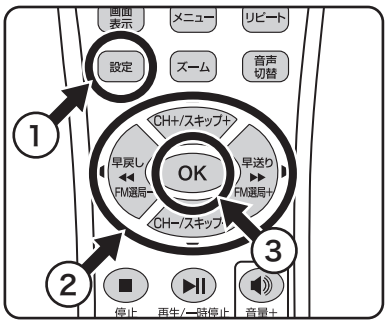
■ このオプション画面を閉じる場合は**「終了」**を選択します。

■ 途中の画面で全てキャンセルする場合は、リモコンの"字幕切替(CD→SD/USB録音)"ボタン(②)を押します。

4 "カーソル"ボタン(③)を押して**「コピー」**に移動し、"OK"ボタン(④)を押して、コピー先の「USB」もしくは「SD」の表示で"OK"ボタン(④)を押します。次の画面の**「次へ」**で"OK"ボタン(④)を押すと、ファイル/フォルダのコピーが実行されます。「戻る」を選択して"OK"ボタン(④)を押すと前の画面に戻ります。

7. 設定

ディスクをセットしている時に、リモコンの"設定"ボタン(①)を押してください。
ディスクやファイルの再生中は、選択できない設定があります。その場合は停止にして設定してください。
"カーソルボタン"(②)でカーソルを移動し、"OK"ボタン(③)で設定します。設定が終了したら、再度"設定"ボタン(①)を押すと元の画面に戻ります。



■ 一般設定ページ

- 「TV画面」は、本機の液晶でご覧になる場合は「16:9」に設定します。外部接続したテレビでご覧になる場合は、画面が4:3のテレビの場合は「ノーマル/LB」を、16:9ワイドテレビの場合は「16:9」に設定します。「ノーマル/PS」は16:9の映像の左右を切り取って、4:3の画面全体に映します。
  ※ディスクによっては「TV画面」設定が反映されない場合があります。
- 「アングルマーク」は、マルチアングルが収録されたDVDを再生する時、画面上にアングルマークを表示するかどうかをオン/オフで設定します。
  ※ただし、本機ではマルチアングルの切替えはできません。
- 「画面表示言語」は、設定画面の言語を「英語/日本語」から選択します。
- 「スクリーンセーバー」は、「オン」にすると停止状態が続いた時にスクリーンセーバーの画面に変わります。またこのオン/オフ設定とは無関係に、停止状態が約30分続くと液晶モニターを消灯します。
- 「ラストメモリー」は、オンにすると、DVD/音楽CDの最後に再生を停止した場所を記録し、電源を入れなおした後、同じ場所から再生を再開します。

■ オーディオ設定ページ

スピーカー設定

ダウンミックス機能により、音声多重の出力方法を設定することができます。

■ LT/RT
ダウンミックスのLT/RT出力です。

■ ステレオ
通常のステレオ出力です。

イコライザー設定

音響効果を選択します。

■ タイプ
なし→ロック→ポップ→ライブ→ダンス→テクノ
→クラシック→ソフト

■ バスブースト
低音強調をオン/オフします。

■ スーパーバス
重低音強調をオン/オフします。

■ 高温強調
高音強調をオン/オフします。

リバーブモード

残響効果を選択します。

■ リバーブモード
オフ→コンサート→居間→ホール→バスルーム
→ケープ→競技場→教会

ドルビーデジタル設定

音響出力を選択します。

■ デュアルモノ
ステレオ→左モノラル→右モノラル→ミックスモノラル
カラオケCD再生の時に出力を選択します。

■ ダイナミック
ダイナミックレンジを設定します。

■ ビデオ設定ページ

画質

外部接続したテレビのビデオ画質を調整することができます。それぞれの項目で"カーソル"ボタンを押して調整してください。本機ディスプレイの画質調整ではありません。

■ シャープネス
「高」、「中」、「低」の中から設定します。

■ 明るさ
明るさを「−20 ～ +20」の数値の間で調整します。

■ コントラスト
コントラストを「−16 ～ +16」の数値の間で調整します。

■ ガンマ補正
「なし」、「低」、「中」、「高」の中から設定します。

■ 色あい
色あいを「−9 ～ +9」の数値の間で調整します。

■ 彩度
彩度を「−9 ～ +9」の数値の間で調整します。

カラー設定

本機の画面のカラー設定を行うことができます。それぞれの項目で”カーソル”の左右ボタンを押して調整してください。

■ シャープネス
「高」、「中」、「低」の中から設定します。

■ 明るさ
明るさを「−20 ～ +20」の数値の間で調整します。

■ コントラスト
コントラストを「−16 ～ +16」の数値の間で調整します。

■ 色あい
色あいを「−9 ～ +9」の数値の間で調整します。

■ 彩度
彩度を「−9 ～ +9」の数値の間で調整します。

画面比率

本製品のモニターの画面比率を「16:9」、「4:3」のいずれかから設定することができます。
「4:3」表示DVDの再生時に「4:3」に設定します。

■ 初期設定ページ

※本設定は、メディアが完全に停止している状態でないと設定できません。

テレビタイプ

映像出力方式の設定をすることができます。

■ PAL
ヨーロッパなどの国で使用。

■ AUTO（自動）
「PAL」と「NTSC」の両方に対応します。

■ NTSC
日本、米国、その他の国で使用。

※本製品の使用は日本国内に限られていますので、「NTSC」に設定してください。

設定初期化

設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

8. パソコン(Windows)でのUSBメモリー/SDカードのフォーマット方法

既に他の機器でお使いのUSBメモリー/SDカードをご使用の場合は、パソコンでフォーマットをしてください。なお、フォーマットをするとデータは全て削除されますので、大事なデータはバックアップをお取りください。

1 パソコンを起動後、USBメモリーはUSB端子に、SDカードはカードリーダーに接続します。
[デジタルオーディオプレーヤー(マスストレージタイプ)は、カードリーダーの代わりにご使用になれる場合があります。]「リムーバブルディスク」のウィンドウが出ますが、「キャンセル」します。

2 「スタート」から「マイ・コンピュータ」をクリックします。

3 「リムーバブルディスク」のアイコンの上で右クリックし、フォーマットを選択してクリックします。

4 「フォーマットリムーバブルディスク」というウィンドウが出ます。SDHCカード(4GB以上)、USBメモリーの場合は「ファイルシステム」の表示が「FAT32」となっているのを確認します。「FAT32」でない場合は右側下向き矢印をクリックし「FAT32」を選択します。SDカード(2GB以下)の場合は「FAT」を選択します。

5 「開始」をクリックします。
「警告:フォーマットをすると、このディスクの全てのデータが消去されます。・・」という警告文が出ます。「OK」をクリックします。

6 バーが左から右に移動し、「フォーマットが完了しました」というウインドウが出るので、「OK」をクリックします。これでフォーマットが完了です。(なお、バーの移動が途中で止まってしまう場合は、USBメモリー/SDカードに不具合があります。)

7 USBメモリー/SDカードの取り外しは「ハードウェアの安全な取り外し」アイコン(画面右下ツールバー内のカード形のアイコン)をクリックし、該当する「・・安全に取り外します」をクリックし、安全確認の表示が出た後に取り外します。

9. 故障かな?と思ったら

本製品に問題が発生した場合は、下記のことをチェックしてください。

症状	原因	対処法
AC電源で動作しない	電源スイッチが入っていない。	後部の電源スイッチを(入)にしてください。
スイッチを入れても動作せずフリーズした	CPUが誤作動した。	後部の電源スイッチを一度切り、再度(入)にしてください
ラジオの音が聞き取りずらい	FMの受信状態が悪い。	FMアンテナを伸ばし、向きを変えてください。
DVD/CDが動作しない	ディスクが汚れている。	柔らかい布にアルコールをつけてディスクの汚れを拭き取ってください。
	”DVD/FM”ボタンが「DVD」にセットされていない。	”DVD/FM”ボタンを押して「DVD」にセットしてください。
	一時停止状態になっている。	”再生/一時停止”ボタンを押して再生してください
SDカード/USBメモリーを入れたのに認識しない	”メディア選択(DVD/USB/SD)”ボタンがセットされていない。	”メディア選択(DVD/USB/SD)”ボタンでUSB/SDにセットしてください。
	CPUが誤作動した。	SDカード/USBメモリーを取り付けたまま、後部の電源スイッチを一度切り、再度(入)にしてください。
	既に他の機器でお使いのSDカード/USBメモリーを使用した。	SDカード/USBメモリーをパソコンでフォーマットしてください。(28ページ参照)
SDカード/USBメモリーに録音ができない	既に他の機器でお使いのSDカード/USBメモリーを使用した。	SDカード/USBメモリーをパソコンでフォーマットしてください。(28ページ参照)
SDカード/USBメモリーの再生で音飛びがする	既に他の機器でお使いのSDカード/USBメモリーを使用した。	SDカード/USBメモリーをパソコンでフォーマットしてから再度録音してください。(28ページ参照)
リモコンが操作できない	リモコン用電池の極性を間違って入れている。	極性を確認して正しく入れなおしてください。
	リモコン用電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。

10. アフターサービスについて

① この製品は保証書がついております。お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。

② 保証期間はお買上げ日より一年です。詳細は保証書をご覧ください。

③ アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買上げの販売店かキュリオムサポートセンターにお問い合わせください。

ナビダイヤル **0570-00-9106**

受付時間：月～金 午前１０時～午後５時３０分（土・日・祝祭日・年末年始を除く）
※ナビダイヤルは、PHS、一部のIP電話、一部の電話からはつながりません。

メールでのお問い合わせ：E-mail ： support@qriom.com

データの取り扱いに関する注意

- SDカードやUSBメモリーにデータを記録する場合は、著作権法に違反しないよう十分注意してください。当社、及び本製品の製造元・流通元・販売元は、本製品が上記のような違反行為に使用された場合、いっさいの責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用に伴い、SDカードやUSB接続によりUSBメモリーに書き込んだデータの消失、毀損等によりお客様に生じた逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見、または予見しえなかった場合を含みます）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権について

- 市販の音楽CDなどを権利者の承諾なしに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の承諾なしに第三者に配布することはできません。個人で楽しむ目的で録音した音楽データを、権利者の承諾なしに故意にインターネット上で配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触し、行った場合は法律による処罰の対象になります。

個人情報のお取り扱いについて

- 株式会社　山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

11. ご注意

- 本製品を運用した結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
- 株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気付きの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 本製品および本取扱説明書などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

本書の内容につきましては、万全を期しましたが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくはキュリオムサポートセンターにご連絡ください。
また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

①弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
②本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
③本製品のために費やした時間、経費
④本製品に付随する、または運用の結果もたらされた損害
⑤本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

修理の際はCD、USBメモリー、SDは取り出してご返送ください。

また、本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

12. 仕様

DTC-70

製 品 仕 様

外 形 寸 法	本体:(幅)190×(奥行)220×(高さ)216mm
	スピーカー:(幅)145×(奥行)180×(高さ)218mm
質 量	本体:約 2.1kg、スピーカー:約 1.3kg(1台)
受 信 周 波 数	FM 76～90MHz (30局プリセットメモリー機能付)
対 応 ディ ス ク	DVDビデオ、CPRM対応DVD-R/RW、音楽CD、ビデオCD、CD-R/RW、DVD±R/RW
対応フォーマット	ディスク:DVD-Video、DVD-VR、Video-CD、CD-DA、MP3、WMA、JPG
	SD/SDHCカード、USBメモリー:MP3、WMA、JPG
録 音 形 式	MP3 (音楽CDからSD/SDHCカードまたはUSBメモリーに録音)
	標準1倍速録音と高速録音(約2.5倍速)可
最 大 出 力	5W+5W
ディ ス プ レ イ	7インチ 16:9ワイドTFT液晶モニター
出 力 端 子	AV(アナログ音声/コンポジットビデオ)出力、イヤホン出力、スピーカー出力
入 力 端 子	SD/SDHCカード端子、USB端子
定 格 電 圧	AC100V
消 費 電 力	40W
定 格 周 波 数	50/60Hz

付 属 品

リモコン、リモコン動作確認用単4形乾電池2本、AVケーブル、取扱説明書(保証書付)

※ DVD±R/RW、CD-R/RWは、ディスクの特性、キズ、汚れ、ファイルフォーマット、記録状態によっては正常に再生できない場合があります。すべてのディスクの再生を保証するものではありません。

※ CPRM方式で記録されたディスク は再生できますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

※ CPRMディスクの読み込みには1分前後かかる場合があります。

※ SD/SDHCカード端子にはSDカードかSDHCカードを接続します。但し、すべてのSD/SDHCカードの動作を保証するものではありません。SD/SDHCカードに記録されているファイルがMP3/WMA/JPGであっても記録状態によっては正常に動作しない場合があります。

※ USB端子にはUSBメモリーのみを接続します。但し、すべてのUSBメモリーを保証するものではありません。USBメモリーに記録されているファイルがMP3/WMA/JPGであっても記録状態によっては正常に動作しない場合があります。

※ 既に他の機器でお使いのSD/SDHCカード、USBメモリーをご使用になる場合は、最初にパソコンで必ずフォーマットをしてください。フォーマットをしないと正常に動作しない場合があります。また録音エラーとなった場合もフォーマットをするとエラーが解消される場合があります。なおフォーマットをするとデータはすべて消去されます。大事なデータはバックアップをお取りください。(28ページ参照)

※ CD-DA/MP3/WMAファイルであっても、独自の暗号化を行っている製品で使用されているファイルを入れたSD/SDHCカードやUSBメモリーは、本機で再生できません。また本機で録音されたファイルは、それらの製品で再生できません。

※ 著作権保護管理されたファイルは本機で再生できません。

※ 本機のディスプレイ表示、動作については、バージョン変更により、本説明書内容と一部異なる場合があります。ご了承ください。

※ 本機の設計、仕様は予告なく変更する場合があります。

MEMO

MEMO

7インチ液晶付

DVD/CDミニコンポ

保証書 持込修理

形　名	DTC-70	
無料修理保証期間	本　体	お買上げ年月日　　年　　月　　日より1年間
お客様	ご芳名 ご住所	様 ☎ 〒
販売店	店　名 住　所	☎ ㊞

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束したものです。
上記「無料修理保証期間」中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

●所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合は直ちにお買上げの販売店へお申し出ください。
●本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。なお修理に代えて、製品本体交換又は代替品交換とさせて頂く場合がありますので、ご了承ください。メモリー等、記憶素子を搭載した製品の場合、お客様が記録されたデータは、修理又は製品本体交換によって残りませんので、あらかじめバックアップをお取り頂くようお願い致します。なお、調査報告書の提出依頼等、修理・交換以上の責はご容赦ください。
2. ご転居、お贈答品等で修理依頼ができない場合には、キュリオムサポートセンターへご相談下さい。
[キュリオムサポートセンター：0570-00-9106　受付時間：月～金午前10時～午後5時30分（土・日・祝祭日・年末年始を除く）　※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合があります。]
3. 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
（イ）使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
（ロ）お買上げ後の転倒、輸送、落下等による故障及び損傷。
（ハ）火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
（ニ）一般家庭以外（業務用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
（ホ）本書のご提示がない場合。
（ヘ）本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in japan.

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。
※本保証書に記載された個人情報は本機の保証・サービスを目的としており、それ以外の目的で使用することはありません。

株式会社 山善 家庭機器事業部

・関東営業部：東京都台東区東上野2-1-11 サンフィールドビル5階　・大阪営業部：大阪府大阪市西区立売堀3-2-5 山善第二ビル
・名古屋営業部：愛知県名古屋市熱田区白鳥2-10-10　・九州営業部：福岡県福岡市博多区東比恵2-20-18
・東北営業部：宮城県仙台市若林区卸町3-3-14

V1-130607